

◇現象

- ・アプリケーションはインストール出来るがデバイスマネージャにおいて CW-Analyzer が認識されず、デバイスマネージャのプロパティにて「このデバイスに必要なドライバーのデジタル署名を検証できません。……」と表示されアプリケーションよりアナライザ本体が認識されず動作出来ない状態となる。上記現象により、最近ご購入の Windows10(Pro 以上) PC において CW232/V-Black、(CW422-Black) が動作しないという事象がユーザー様より報告されました。

◇原因

マイクロソフト社による「Windows 10 Anniversary Update」で適用されたドライバー署名の新しいポリシーの適用により発生しております。

但し、該当 PC の状態により必ずしも現象が発生しない場合もございます。

例：セキュアブート機能の停止、Anniversary Update 以前のバージョンでのインストール等

弊社では、現在まで第三者機関認定によるドライバー署名をドライバーに組み込んでおりました。

この方法は、ごく一般的な方法です。

「Windows 10 Anniversary Update」までは問題なく動作しておりましたが、

「Windows 10 Anniversary Update」にて、下記の仕様が必要となりました。

” 基本的に、カーネル モードで動作するドライバーは、マイクロソフトより発行された証明書を用いた署名が付与されている必要がございます。”

◇対応について

上記新仕様に対応する為に、新しい方式の認証に対して現在対応中でございます。

但し、マイクロソフト社に対する申請以外にも第三者機関による新たな EV 証明書の

交付手続き等も必要となる為、今しばらくお待ち頂けます様、お願い致します。

対応が終わりました所で、弊社 HP に新しいドライバーを Up 予定です。

□補足

該当 PC にて早期にご使用をご希望されるユーザー様において該当 PC の BIOS 設定にて

「セキュアブート」を無効とした場合、動作する可能性もございます。

尚、BIOS の設定詳細につきましては、ご購入のメーカーにご相談下さい。